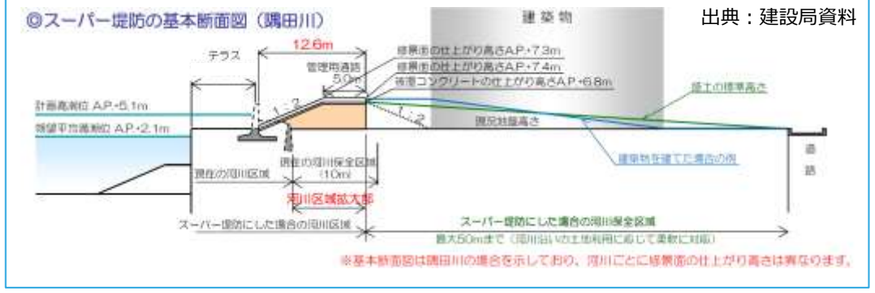
□歩行者ネットワークの現状及び既存の計画

● スーパー堤防

｜現状｜

- 東京都では、高潮や大地震による水害から東部低地帯を守るため、昭和60年から、東部低地帯を流れる主要5河川（隅田川、中川、旧江戸川、新中川、綾瀬川）において、スーパー堤防の整備を進めている。
- 築地地区では、地区南東側が計画区域に含まれており、前面のテラスは幅広のテラスを想定している。

出典：建設局資料

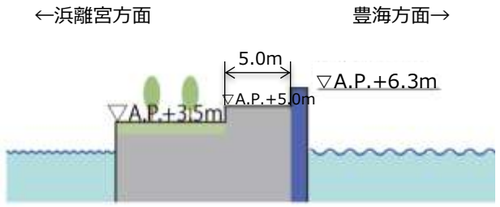


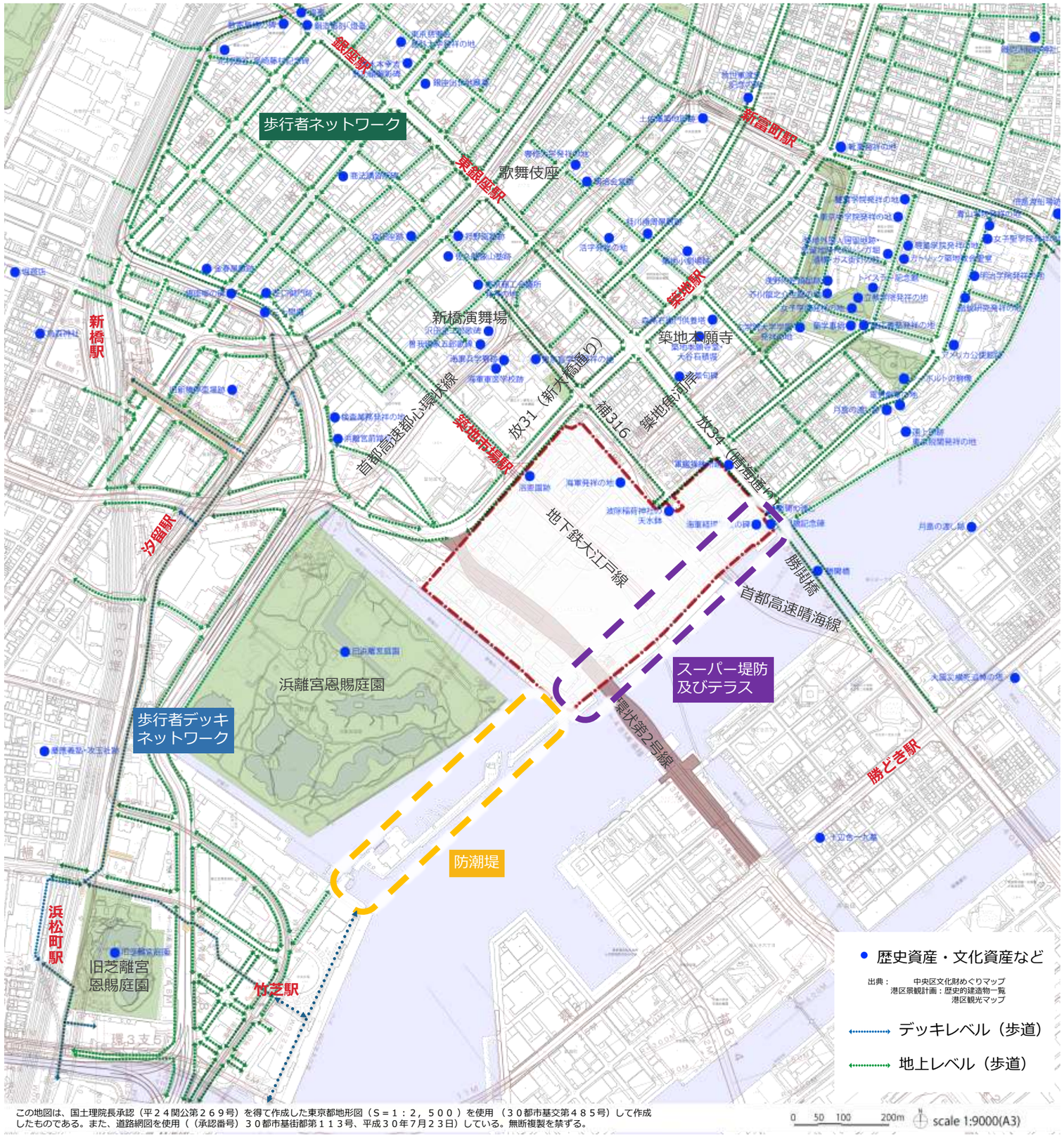
● 防潮堤

｜現状｜

- 浜離宮恩賜庭園南東側には防潮堤が整備されている。2か所水門が設けられており、水上バス等が航行している。

出典：画像©2018 Google、地図データ
©2018 ZENRIN (Google Mapより)





□ 築地まちづくりの大きな視点における位置づけ

- より価値を高めるために、周辺の様々な資源とのつながりを重視すべき
  南側：浜離宮恩賜庭園、竹芝地区の再開発や浜松町など
  北側：築地本願寺や歌舞伎座、新橋演舞場、旧居留地があり、銀座などにつながる
- 周辺の歴史資産、文化資産、特徴ある地域を結び付け、連携を強化することができるよう、楽しく周遊できる歩行者のネットワークなどを形成していくべき
- 築地地区の開発が契機となって、周辺地域において、時間をかけて、自然発生的ににぎわい等が増進されることにより、この地域一帯が、人が集まる交流拠点として、更なるにぎわいを生み出していくことが重要

■歩行者ネットワーク形成の方針

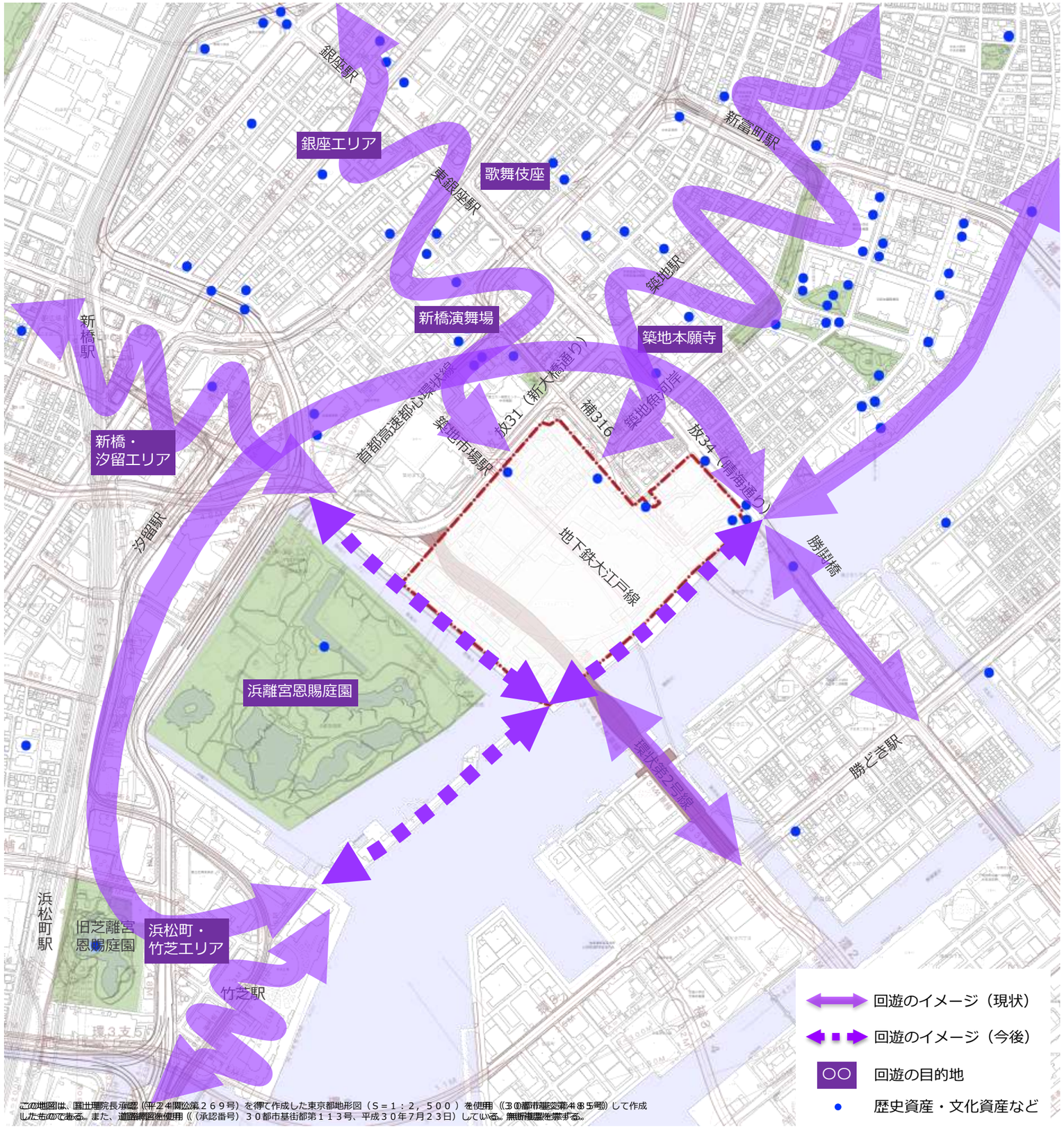
方針１ 築地地区周辺に点在する歴史資産・文化資産や既存の歩行者デッキなどを生かし、周辺エリアとつながり楽しく周遊できる歩行者ネットワークの実現を検討する。

方針２ スーパー堤防や防潮堤を活用した水辺沿いの歩いて楽しい歩行者ネットワークの実現を検討する。

方針３ 築地地区内の快適な歩行者空間の確保を検討する。

■検討（整備）の方向性

- 内外の観光客が多く訪れる、銀座地区の商業エリア、歌舞伎座、築地本願寺や築地場外市場など、周辺の様々な資源とのつながりを図るため、更なる地域資源の発掘を行うとともに、これらを結び、築地までつながる、歩行者ネットワークの普及啓発などを検討する。
- 浜離宮前面の防潮堤を活用し、築地から竹芝へと通行が可能となる歩いて楽しい歩行者ネットワークの整備を検討する。
- 築地地区の隅田川に整備されるテラスと、既設のテラスとを接続し、海から続く隅田川沿いの歩行者ネットワークを活用する取り組みを行う。
- 築地川沿いに、浜離宮恩賜庭園の景観を生かした歩行者ネットワークの構築を検討する。
- スーパー堤防による嵩上げ部と擦り付く高いレベルでの歩行者ネットワークの形成を検討する。
- 築地地区南西部を横断する環状第2号線を越える歩行者ネットワークの形成を検討する。
- 場外市場など周辺とのつながりに配慮した歩行者ネットワークの形成を検討する。
- デッキレベルと地上レベルとをつなぐ縦動線の確保を検討する。



この地図は、国土理院長承認（平２４関公第２６９号）を得て作成した東京都地形図（Ｓ＝１：２，５００）を使用（（３０都市建交第４８５号））して作成したものである。また、道路網図を使用（（承認番号）３０都市基街都第１１３号、平成３０年7月２３日）している。無断複製を禁ずる。

※本資料の内容は現時点での検討段階のものであり、今後の行政協議及び詳細検討により変更になる可能性があります。

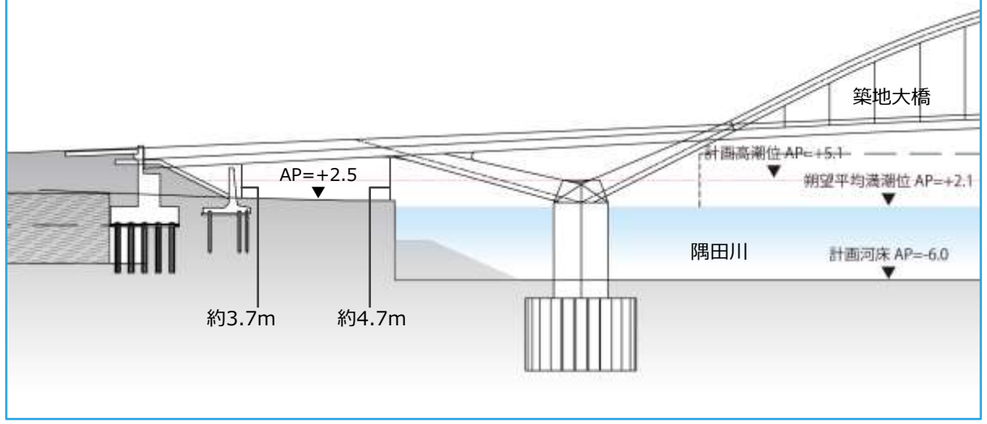
（参考）水辺の歩行者ネットワークについて

□築地大橋周辺の水辺の歩行者ネットワークについて

○隅田川沿いに幅の広いテラスを想定。

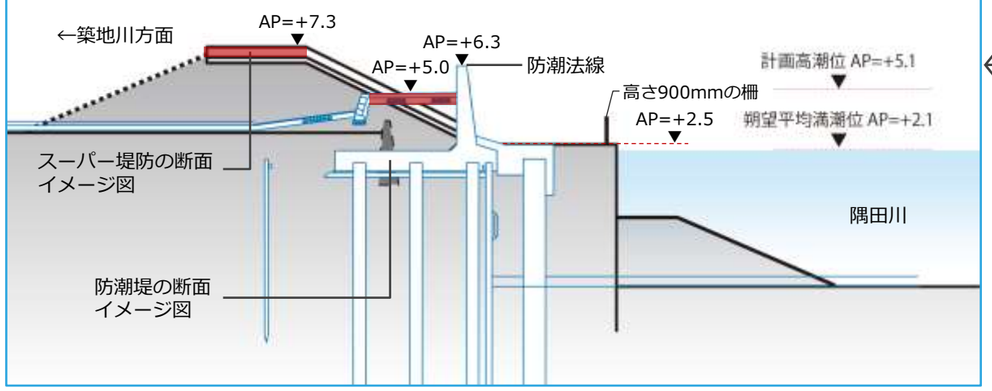
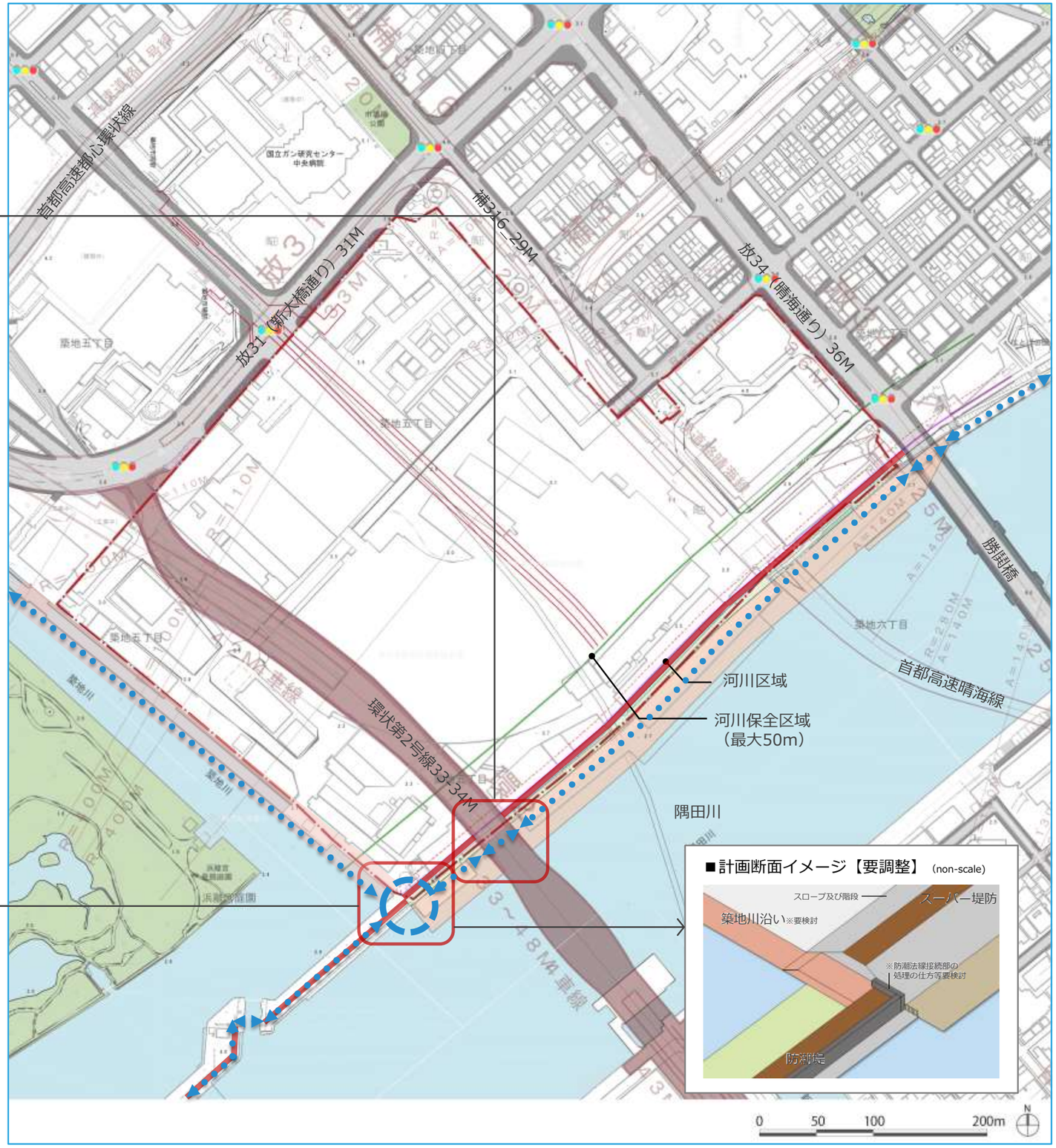
○築地大橋下部においては、テラス高（約AP=+2.5程度）から約3.7～4.7m程度の桁下空間が確保されていることから、歩行者の通行が可能な空間を確保することが可能。（数値はいずれも図測）

○築地大橋周辺における隅田川沿いのテラス幅の考え方については水辺の歩行者ネットワークの観点から今後要確認。



□スーパー堤防と防潮堤の接点について

○防潮堤の管理用通路の高さはAP=+5.0であり、スーパー堤防頂部の高さAP=+7.3とは2.3mの高低差が生じる。

○歩行者ネットワークの観点から、今後高低差の処理について調整が必要。

■スーパー堤防と防潮堤の重ね図